

ながさきの未来をつくる仕事～建設業～

建設業で働くことは、大切なひとの暮らしを創り、守ること。
そして、こどもたちの未来をつくること。そんな「建設業の魅力」をご紹介します。

まちと未来を「つくる」

建設業は「未来をつくる仕事」とよく言われます。
人々の移動や流通を支える道路ネットワーク、島の玄関口である港や空港、暮らしの拠点である種々の建築物、そういった快適で安全な暮らしを支えるまちの基盤をつくっているのが、「建設業」です。



地域を「まもる」

近年日本では、たびたび大きな水害や地震などの災害に見舞われています。こうした自然災害から人々の暮らしを守るため、道路や橋、ダムなどのインフラの整備や補修・補強を行っているのが「建設業」です。

崩れた
道路を直す



大雨から
集落を守る



橋を補強し
地震から守る



ながさきの建設業で
活躍する先輩たちの声

- 工事が**完成した時には大きな感動**があり、やりがいを感じる仕事です。
- 入社する前は、**3K「きつい」「汚い」「危険」のイメージ**がありましたが、**実際は、最新の機械や重機があつて効率よく仕事**ができていると感じます。
- 個人的には**もはや3Kと言われる業界ではない**と思っていますし、デジタル化やペーパーレス化が進み、タブレットやドローン技術も当たり前のように導入されています。まだまだ女性が少数というのは現実としてありますが、「建設ディレクター」などの**女性が活躍しやすい場が積極的に創出されている**という雰囲気も感じますね。



長崎県建設業就職ポータルサイト /



県内建設業を紹介する動画や建設業で働く先輩たちのインタビュー記事などを掲載しています。



建設業と出会った高校生のミニドラマ /



YouTubeにて好評配信中!(全12話)

